

2.4Gワイヤレス光学マウス取扱説明書

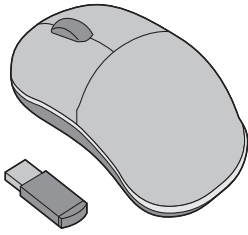
MA-WH112シリーズ

MA-WH112

090215002/AA/00

MA-WH112RC

090215003/AA/00



最初に
ご確認ください

- マウス本体 …………… 1台
- 小型レシーバー …… 1台
- 単三乾電池 (テスト用) …… 1本
- 取扱説明書 …………… 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社Webサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>) をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

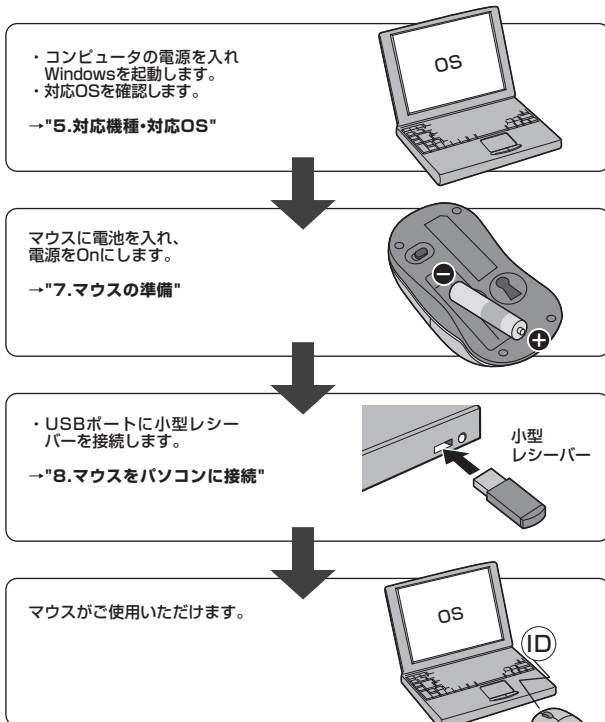
サンワサプライ株式会社

目次

1. 2.4Gワイヤレス光学マウスの接続手順
2. 特長
3. 警告
4. 健康に関する注意
5. 対応機種・対応OS
6. 接続する前にお読みください。
7. マウスの準備 (電池の入れ方、電源のON/OFF)
8. マウスをパソコンに接続 (Windows用)
9. マウスをパソコンに接続 (Mac OS X用)
10. ID (チャンネル) の設定方法
11. 本製品の使用方法 (Macでは一部の機能がご利用いただけません)
12. 「故障かな…と思ったら」

1. 2.4Gワイヤレス光学マウスの接続手順

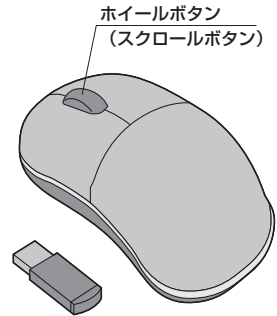
詳細は各項目をご覧ください。



2. 特長

この度は、2.4Gワイヤレス光学マウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、パソコンにレシーバーを接続するだけで簡単に接続することができ、初心者の方でも手間なくご利用いただけます。本製品は、ボールを使わない光学式 (光学式) のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。また、スクロールボタンを回転・クリックするだけで簡単に画面スクロールが行えます。

※ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。



3. 警告

■テレビ・ラジオの受信障害について

本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。

ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせてください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意

本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。

また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

5. 対応機種・対応OS

■対応機種

- Windows搭載パソコン、各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
- Apple Macシリーズ
- USBポート (Aタイプコネクタ) を持つ機種

■対応OS

- Windows 7・Vista・XP・2000・Me・98SE ●Mac OS X (10.2以降)
- ※Mac OS X (10.3以降) は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。
- ※機種により対応できないものもあります。
- ※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

6. 接続する前に必ずお読みください。(Windows用)

■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され使用可能となります。本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の項を展開します。USBインターフェイスが正常に動作していれば、右のような画面が表示されます。

USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見当たらない場合、マザーボードのBIOSのアップグレードや、BIOSの設定をご確認ください。初期状態ではUSBポートの使用が不可に設定されている機種もあります。



6. 接続する前に必ずお読みください。(続き)

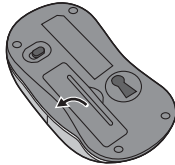
※「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。表示がIntel(インテル社)以外の場合もありますので、詳しくは本体(マザーボード)メーカーのサポートにお問い合わせください。

■BIOS上でUSBがdisable(ディセーブル=無効)になっている場合

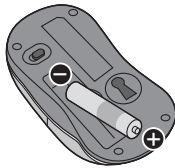
●BIOS上のUSBをenable(イネーブル=有効)にしてください。BIOS設定画面はコンピュータ起動時にF1かF2を押して表示させるものが多いですが、詳細な方法等については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

7. マウスの準備(電池の入れ方、電源のOn・Off)

1. マウス裏面の電池カバーを取り外します。

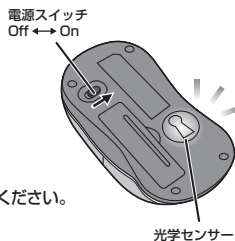


2. 付属の単三乾電池をマウスに入れます。
※正しい極性で入れてください。



3. 電池カバーを取外したときと逆の手順で取付けます。

4. マウス裏面の電源スイッチをOnにして、光学センサーが光っていることを確認します。もし光っていない場合は、電池の向き、電池残量を確認してください。



※マウス使用中に光学センサーが光らなくなった場合には、電池を交換してください。

※電池交換の際には、単三アルカリ乾電池をご利用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短い場合があります。)

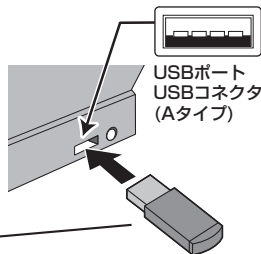
※空になった電池をマウス内に置いておくと液もれの原因になりますので、取り出しておいてください。

8. マウスをパソコンに接続(Windows用)

■小型レーザーの接続

①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
レーザーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。

②小型レーザーをコンピュータのUSBポートに接続します。



※小型レーザーには上下がありますので、USBポートの上下を確認して接続してください。

③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

《Windows 7の場合》

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

《Windows Vistaの場合》

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

《Windows XP・2000・Meの場合》

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」
「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



8. マウスをパソコンに接続(Windows用) (続き)

《Windows 98SEの場合》

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。※Windows 98SEでは、下記の作業が発生しますので、手順に従って、インストール作業を行ってください。

●新しいドライバを検索しています。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ)



●検索方法を選択してください。
○使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)----- 次へ)



●新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。
チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れずに----- 次へ)



もし、検索場所を聞いてきたら、☑検索場所の設定(L) C:\WINDOWS\INF

もしくは
C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows OSのCD-ROM(パソコン購入時に同梱)を挿入し、☑CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。

8. マウスをパソコンに接続(Windows用) (続き)

●次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ)



●USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 完了



9. マウスをパソコンに接続(Mac OS X用)

Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。

- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
- ②本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- ③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- ④これでマウスをご使用いただけます。

10.ID(チャンネル)の設定方法

※重要 (必ずお読みください)

レシーバーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでないことがあります。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後もなくして、マウスが動かなくなった場合は、すみやかに電池を交換してください。

11.本製品の使用方法(Macでは一部の機能がご使用いただけません)

■左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きやポップアップメニューの表示もすることが出来ます。

■ホイールボタン(スクロールボタン)

インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

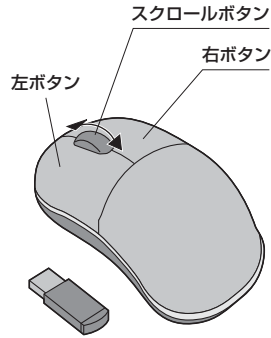
■スクロールモード(Windowsのみ)

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変更することです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。



12.「故障かな・・・と思ったら」

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

- A.
- 1.マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOffになっていないか確認してください。("7.マウスの準備"参照)
 - 2.レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。("8.マウスをパソコンに接続(Windows用)"、"9.マウスをパソコンに接続(Mac OS X用)"参照)
 - 3.付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんので、新しい電池に交換してください。("7.マウスの準備"参照)

Q.マウスをしばらく操作しないと、動かし始めた際に少し時間がかかる。

- A.
- 本製品は、電池の消耗を押さえるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを動かすと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。

Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

- A.
- 1.光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
 - 2.金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
 - 3.ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線通信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなることがありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。
 - 4.レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

- A.
- Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

12.「故障かな・・・と思ったら」(続き)

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A.
- 1.ハイカラーモードを選択してください。
 - 2.ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

保証規定

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - (1)保証書をご提示いただけない場合。
 - (2)所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (3)故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
 - (4)故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - (5)天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。



サンワサプライ株式会社

2010.4現在

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジャマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

10/04/ymdaU